平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名　日本開閉器工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6943　URL　http://www.nikkai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大橋　智成
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 市川　忠夫　TEL 044-813-8026

四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,574	△7.8	75	△31.6	111	17.1	76	81.5
25年3月期第1四半期	1,707	△7.0	110	△10.4	95	△19.1	42	△63.9

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　133百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△29百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.31	―
25年3月期第1四半期	5.13	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	12,797	10,430	81.5	1,266.67
25年3月期	12,761	10,355	81.1	1,257.40

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　10,430百万円　25年3月期　10,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	5.00	―	7.00	12.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,890	8.8	265	△14.1	295	5.0	180	△16.4	21.85
通期	8,100	12.5	540	△15.0	600	△14.2	360	△28.5	43.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	8,425,200 株	25年3月期	8,425,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	190,858 株	25年3月期	189,509 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	8,235,067 株	25年3月期1Q	8,237,161 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載しております業務見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外においては米国経済の緩やかな回復が見て取れるものの、財政問題を払拭出来ない欧州経済の停滞感や、アジアを始めとする新興国経済の減速の動きが見て取れました。我が国においては、新政権の経済政策や中央銀行による金融緩和策が功を奏して円高是正が進み、また株式市場においてもこれらの状況を背景に上昇気運が見られるものの、企業の設備投資は引続き低調な状態が続き、実体経済への波及効果は依然として実感に乏しい状況が続いております。

当社の属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場におきましては、６月迄の出荷額累計で前年比97.0%と残念ながらアベノミクス効果の影響も薄く、本格的な需要の回復には程遠く、全体的には厳しい状況が続きました。

こうした中、３ヵ年の中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」では「世界一の産業用スイッチメーカー」となるべく「北米市場シェアアップ」をビジョンに掲げ、販売体制を過去からのローカルディストリビューターをベースにグローバルディストリビューター(以下GD)・カタログディストリビューター(以下CD)へと販売網の拡大を図る中で、グローバル化やボーダーレス化の社会に順応し、近年ではGDとの更なる関係強化を図ることはもとより、新規顧客の獲得とデザインエンジニアリングレベルで新規デザインへのNKK製品採用を増加させるためCDとの関係強化を推進し、2013年4月末には北米における大手CDとグローバル販売契約を締結しました。一方、ものづくりメーカーとしてその継続を磐石なものとするために、開発力・技術力はもとより品質力の向上に努め、お客様の信頼を裏切ることのないように努力しております。

しかしながら、企業環境は厳しい状況が継続しており、当第１四半期連結累計期間の売上高は15億７千４百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益は７千５百万円（前年同期比31.6%減）、経常利益は１億１千１百万円（前年同期比17.1%増）、四半期純利益は７千６百万円（前年同期比81.5%増）となりました。

当社は「競争力強化」と「体質強化」に尽力していくことを基本姿勢とし、今後ともメーカーとしての役割である「ものづくり」をNKKグループ一丸となって推進してまいります。

なお、セグメントの概況は次の通りであります。

① 日本

日本国内は、アベノミクス効果が叫ばれている程に実体経済への波及効果は乏しく、依然としてデフレ脱却も達成していないことから厳しい環境が継続しております。販売強化項目を中心に足で稼ぐ営業を積極的に展開して取り組みましたが、当第１四半期連結累計期間の売上高は11億８千３百万円（前年同期比14.0%減）となりました。今後も販売強化項目を中心に販売活動計画に基づいて「引き合いを確実に受注に結びつける質の高い営業へのシフト」を実践していくことで、受注までの販売プロセスを戦略的に推進してまいります。

② 米国

中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」のビジョンである「北米市場シェアアップ」について販売強化項目を中心に積極的な販売活動に取り組みましたが、現地通貨ベースでは前年同期比5.3%減となりました。しかし為替の影響により、当第１四半期連結累計期間の売上高は４億８千６百万円（前年同期比16.6%増）と過去最高となりました。

③ アジア

中国市場は潤沢な公共投資に支えられ順調に成長してまいりましたが、昨年中国政府の金融引き締め策により公共投資も抑制され中国経済の減速感が高まりました。そのような環境下、当社は中国市場を日本、北米に続く第三の市場と位置づけております。中国市場においてもNKKブランドの認知度は徐々に浸透しつつありますが、現地通貨ベースでは前年同期比26.6%減となりました。しかし為替の影響により、当第１四半期連結累計期間の売上高は、４億３千９百万円(前年同期比9.4%減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産

資産合計は127億９千７百万円（前連結会計年度末比３千６百万円の増加）となりました。

主な要因は、商品及び製品の増加（前連結会計年度末比１億６千８百万円の増加）、原材料及び貯蔵品の増加（前連結会計年度末比９千５百万円の増加）、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比２億円の減少）によるものであります。

② 負債

負債合計は23億６千７百万円（前連結会計年度末比３千８百万円の減少）となりました。

主な要因は、その他流動負債の増加（前連結会計年度末比１億５百万円の増加）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比６千万円の減少）、引当金の減少（前連結会計年度末比８千２百万円の減少）によるものであります。

③ 純資産

純資産合計は104億３千万円（前連結会計年度末比７千４百万円の増加）となりました。

主な要因は、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比１千９百万円の増加）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比５千９百万円の増加）によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月17日付にて公表した連結業績予想につきましては変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,826,020	5,855,032
受取手形及び売掛金	1,361,974	1,161,875
商品及び製品	769,001	937,555
仕掛品	130,072	123,684
原材料及び貯蔵品	1,190,092	1,285,339
繰延税金資産	115,320	122,193
その他	98,429	57,454
貸倒引当金	△2,464	△2,452
流動資産合計	9,488,445	9,540,684
固定資産		
有形固定資産	1,426,599	1,424,052
無形固定資産	661,160	652,682
投資その他の資産	1,185,194	1,180,277
固定資産合計	3,272,953	3,257,012
資産合計	12,761,399	12,797,696
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,223,469	1,215,135
未払法人税等	104,184	43,401
引当金	124,500	41,738
その他	478,365	584,238
流動負債合計	1,930,519	1,884,512
固定負債		
繰延税金負債	75,522	64,541
役員退職慰労引当金	162,200	166,100
退職給付引当金	122,127	135,721
その他	115,450	116,615
固定負債合計	475,300	482,978
負債合計	2,405,820	2,367,491

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,799,736	8,818,769
自己株式	△158,227	△159,029
株主資本合計	10,426,614	10,444,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162,844	160,219
為替換算調整勘定	△233,879	△174,858
その他の包括利益累計額合計	△71,034	△14,639
純資産合計	10,355,579	10,430,205
負債純資産合計	12,761,399	12,797,696

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	1,707,371	1,574,512
売上原価	1,052,942	886,938
売上総利益	654,428	687,573
販売費及び一般管理費	544,346	612,307
営業利益	110,081	75,266
営業外収益		
受取配当金	9,126	12,512
為替差益	－	25,592
受取賃貸料	2,343	1,955
その他	2,486	2,750
営業外収益合計	13,957	42,811
営業外費用		
支払利息	473	323
売上割引	3,968	4,661
賃貸収入原価	1,125	1,208
為替差損	22,953	－
その他	69	148
営業外費用合計	28,590	6,342
経常利益	95,449	111,735
特別損失		
固定資産除却損	387	6,843
特別損失合計	387	6,843
税金等調整前四半期純利益	95,061	104,892
法人税、住民税及び事業税	18,834	43,810
法人税等調整額	33,965	△15,601
法人税等合計	52,799	28,209
少数株主損益調整前四半期純利益	42,261	76,683
少数株主利益	－	－
四半期純利益	42,261	76,683

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	42,261	76,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,492	△2,624
為替換算調整勘定	△31,413	59,020
その他の包括利益合計	△71,905	56,395
四半期包括利益	△29,644	133,078
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,644	133,078
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。